

# 相澤正弘氏

～超難関のIFA国際資格取得から、マーヴォアロマスクール開校までの道のりを語る～



セントレナズズの落ち着いた町並みにマーヴォアロマスクールが登場し早1年が過ぎた。オープン当初から生徒に強い指示を受けている相澤正弘氏は、今年、合格率が低いと言われる超難関のIFA国際資格取得試験に挑戦し、見事に合格を果たした。しかし合格までの道のりは決して簡単なものではなかった。数々の失敗もあり、彼が営むスキンケア製品輸出会社・ボンシックの経営と勉強との両立で眠れない日々が続くこともあった。ボンシックを設立してから10年のこの節目に、経営と勉強の大変な日々挑戦し、アロマを学んだ相澤氏の思いとは？アロマに対する意気込みとアロマスクールにける思いを伺った。

アロマセラピストとして超難関のIFA国際資格取得試験に合格されたとお聞きしましたが、IFA国際資格試験について教えてください。

イギリス発祥の試験で、年に2回回しかチャンスがない試験です。前回自分が受けた試験は25人中で合格したのが20%くらいでした。イギリスの歴史ある資格試験ですから、試験の中身も厳しくチェックされるのでしようね。

アロマの知識だけではなく医学のひとつである解剖生理学や、英文法の問題など英語全般の力も必要でした。採点がイギリスで行われるので、オーストラリア英語表現でも駄目なケースがあり、オーストラリア人の先生とも、「オーストラリアではこう書くけれど、試験の時にはイギリスに合わせてこう書く」という話もしながら進めました。

試験は筆記のみですか？

いえ、フルボディーマッサージの実技の試験が1日あります。そこでは、カウンセリング、マッサージ、スピード、姿勢などマッサージに必要なすべての要素がチェックされます。アロマオイルも実際に作るのですが、香りのできや濃度まで全部その場でチェックされて、オイルの調合の仕方についてもマッサージ中に説明するといったものです。

ACNT(アロマセラピーのコースを開講するシドニーにある学校)でアロマセラピーのディプロマのコースを受講された際には、勉強と仕事との両立で会社に泊まれることもよくあったと聞きましたが、今回も会社に寝泊りされたのですか？

家が遠いので仕事をしていると夜が遅くなることになり、帰ってから勉強すると眠くなりすぎ、運転するのは危ないと判断し、寝泊りしながら勉強することも多々ありました。

そんな相澤先生が、アロマの道に入るきっかけと、IFA取得の経緯までを教えてくださいませんか？

我々の会社名はボンシック(アロマセラピーの学校名はBonich)と言うのですが、ボンというのフランス語で「生まれる」という意味で、シックというのが「かっこいいもの」という意味なんです。「かっこいいものを生んで行く」というコンセプトで、こだわりのもったコアなものを、理解していただける方に提供できる様な

商品を常に生み出して行くという思いで始めたのです。現在その名前に込められた思いに沿い、ホバオイル(スキンケア)の輸出業を始めて10年になります。スキンケアに関しては自然な流れで長期販売することになりました。最初はチヨコレット、ワイン、健康食品など色々でしたが、その中で僕らの手元に残ったのがスキンケアだったんです。それには何か意味があるかと思いついて、これで行こうと決心してスタートしました。当初は商品を現地の旅行会社様に買って頂いたり、輸出したりという業務がメインでしたが、その際にアロマセラピーが大切だということになり、資格取得を目指しました。

アロマセラピーが大切だと気がついたきっかけや出来事について詳しく教えてくださいませんか？

日本で、ビューティーフェアや、ダイエツト&ビューティーフェアのトレードショーがあり、よく出展していたのですが、そこで多くのバイヤーの方からオーストラリアのエッセンシャルオイルとか、オーストラリアのアロマセラピーに関する商品は今後人気が出るから、ホバオイルだけでも、もっと持ってくるようにと言われたんです。それならばオーストラリアのアロマに関する商品を販売してみようかと思いついたのが、最初のアロマセラピーに入るきっかけです。

それですぐにアロマ関係の仕事を始められたのですか？

いえ、実は今回アロマの世界に飛び込む前に、何度もそういったチャンスはありましたが、これまでは呼びかけを頂いただけで、気持ちが付いて行かなくて、でもその時だけは自分の気持ちの中で何かアロマセラピーに引かれるものがあり、早速トレードショーの裏でスタッフと話をして、これはやるしかないなという気持ちになりました。缶コービーを飲みながら話していたと思うのですが、すぐにやりたい気持ちになり、日本からその場でACNTに電話をしました。

缶コービー片手に持ちながら？

ええ、待ちきれなかったんです。スタッフに資格を取ってしまおうとも考えたのですが、今後このアロマセラピーが会社のコンセプトと違ってくるんじゃないかと思いついて、主となる人間が取得する方が良く判断しました。それで自分で取得することにして、シドニーに戻った翌日には学校に手続きに行きました。

自分の自然な気持ちに任せて行動されたわけですね。実際、既に会社を経営されていたというのですから、これから学生になるというのは大変な決断だったと思いませんか？

アロマセラピーに関しては、勉強をしながら興味を持たれていかれたのですか？

そうですね。アロマセラピーについて、言葉は知っていましたが無知の状態から勉強を始めたので当然最初は知らないことが多く、勉強

強しながら、「あつ、そうなんだ！」という発見が多かったです。アロマと聞くとスピリチュアルなイメージを連想される方も多いですが、自分の場合はアロマ治療は本当に科学的に証明されたものなのだろうか？という疑問から入り、最初の方は知らないけど、多量にかく必要で、これ以上やらないと諦めかけたこともありましたが、自分の決断を信じて頑張りました。徐々にアロマセラピーの面白さも理解し、実際に科学的に証明されているということも分かりました。でもそれだけではなく、さらに奥が深いところがある面白さ、楽しくなってきたんです。

その後、資格取得後、アロマスクールの開講されたわけですが、資格を取る最中に、すでに資格取得後は学校を開講しようという思案があったのですか？

うい、実は学校で自分のマッサージの評価が高かったのもあり、最初はマッサージを考えていました。でもそれだけではなく他のサービスマシした方が良いかと考えて、その頃アロマセラピーの観点で取り入れていくという視点から学校はあったのですが、治療という視点からなら、日本語で教えるアロマスクールがなかったら、だったらアロマという芳香成分を使い、体やメンタルやスキンのケアを学べる学校がひとつあってもいいのではないかなと思いついた。結局学校の時間まで一杯になり、今はマッサージ学校は手一杯で教えることはありますが。

生徒さんからは、相澤先生の授業はどんな質問をしても、必ず分かりやすく説明して下さるのでも、良いと聞いています。その上短期で日本語で学べるのも、満足するところだと思つてます。

もし授業の中で分からないことがあっても、またはメールでの質問に対しても、後に調べてメールで必ず説明するよう心がけています。直ぐに答えられるのが良いのではなく、頂いた質問に対して、しっかり調べてしっかりとお答えするのが良いと思つています。私たちのスタンスとしては、来ていただく生徒様にとつてこの受講料を支払うのは、かなりの勇気がいるのではないかと認識していますので、3、4名の少人数でできる限りのことはさせて頂いて、お支払い頂いた受講料以上の知識と満足度をお返ししたいという気持ちで教えています。言葉も、専門用語を並べるのではなく、できるだけ皆さんに分かりやすい言葉を使いながら、理解するまで説明させて頂いています。

8回の授業が修了した後、生徒が学べる場所があると聞きました。

ええ、クラフトというアバターアロマを作っています。教室にお戻り頂いて自分の作りたいアロマを作れるサービスです。

例えば自分で天然素材を使ったアロマ化粧品の作りかたという方が、授業修了後でもここで作れるのですか？部屋代等のお支払いはあるのですか？

いいえ、アバターアロマのサービスで行っていますのでアロマににかかる分の料金だけを別途で計算して頂いています。ですので化粧水も100ミリリットルくらいで5ドル程で作れると思います。皆さんには家に材料を買って頂く必要がないですし、数多くのオ

イルから気に入ったものを使用してお作り頂けます。お友達とこられて、化粧水やうがい薬、クレンジングオイルを作ったって楽しめる方や、日本の帰国前にお友達にプレゼントされるアロマ商品をたくさん作って帰られる方も、利用の仕方は様々です。他にクレンジング、シャンプーとか消臭剤なども作れます。ここまでは天然素材100%のものを使用しているのでも、もしもここで作ったものと市販のもの匂いとか違う場合は、天然以外のものが入っていると思つて頂いてもいいと思います。

IFA国際資格も取得されて、アロマの知識やマッサージだけでなく治療家としてのスキルに立られた相澤先生に、今後の展望をお聞かせいただけますか？

アロマセラピーの効果や恩恵を受けるにはある程度の決まりがあり、何でもエッセンシャルオイルを使えばいいのかわからない、そういう訳ではありません。その部分をきちんと伝えて、ひとりでも多くの方に正しいアロマセラピーを個人の生活に取り入れて頂けるような授業を行いたいと思つています。そして、オーストラリアはアロマの原料が日本よりも豊富ですから、ここで勉強できることの良さも伝えて行ければと思います。

最後に、今後の医療についてどのようにお考えですか？

日本のアロマの本の著者の方や医療現場の先生方とお話させて頂くことがあつて、まだまだ日本ではアロマセラピーは良い匂いというだけのファッション的感覚でとらえられている傾向があります。その流れが終った頃、本格的にセラピーの一種として取り入れられ、現代医療にアロマセラピーが加わっていくと考えています。多くの方がアロマセラピーの効果を実際に体感するまでには、まだまだ時間がかかると思っています。

今後のアロマ治療の行方についても楽しみですね。相澤先生、今日は長い時間ありがとうございました。

**相澤正弘先生の略歴**  
IFA, IAAMA, ITEC, ATMS 認定アロマセラピスト。10年に渡りナチュラルスキンケア製品の開発に携わり、2009年にディプロマアロマセラピー、アーユルヴェーダアロマセラピー、リメディアルマッサージの資格取得。現在アロマセラピー製品の自社ブランド「C19」「Green Shower Aroma」の開発・監修を行いながら、「Marvo Aroma School」を主宰、クリニカルアロマセラピストの講師として開講中。

**IFAとは**  
International Federation of Aromatherapy = 英国国際アロマセラピスト連盟。FAは世界で最も長い歴史を持つプロのアロマセラピストのための連盟。専門職としてのアロマセラピストの代表機関として1985年に英国で設立され、以来公認 慈善事業団体として常にアロマセラピーの最先端を担っている。  
IFAが最優先しているのはプロフェッショナル・トレーニング。IFA認定アロマセラピストは専門技術の水準を高く保つためにその態度や行動、施行をIFAの倫理規定によって定められている。そして常に研鑽と質の向上をはかるためにCPD (Continuous Professional Development) が設定されており、IFA認定アロマセラピストは、資格を更新するため規定のCPDポイントを獲得し続けていく必要がある。

## 気軽に始める マーヴォ アロマ スクール

楽しく健やかな生活を送るための、アイデア満載の生活に密着したアロマライフを提案します。「美」の概念だけでなく、風邪などの病気予防、ニキビなどの肌トラブル緩和などの療法的部分も学びます。

- スクールの特徴**
  - オーガニックスキンケアメーカープロデュースのアロマスクール
  - 学生の方、勤務されている方、主婦の方へ。ご都合に合わせてお気軽に受講いただけます
- 受講特典**
  - アロマセラピー専門書アロマセラピー図解辞典プレゼント!
  - エッセンシャルオイル10種類(\$100相当)プレゼント!
  - 他にもいろいろ特典がございます。[www.marvo-aromatherapy.com](http://www.marvo-aromatherapy.com)
- セラピストコース**
  - 基礎知識、トリートメント方法、アロマセラピーマッサージなど高度な知識まで幅広く習得するコース。(全8回、1回2時間)
  - IAAMAショートコース・サティフィケートを発行します。\$495
- 読者プレゼント**
  - 相澤先生監修のX'mas Body LotionとX'mas Body Washを抽選で5名様にプレゼント!
  - [www.cheers.com.au](http://www.cheers.com.au)より応募ください。締め切り2011年1月14日(金)まで。

Marvo Aroma School Suite 3, Level1, 30-36 Albany Street St Leonards, NSW 2065 メーカーサイト [www.c19.com.au](http://www.c19.com.au)